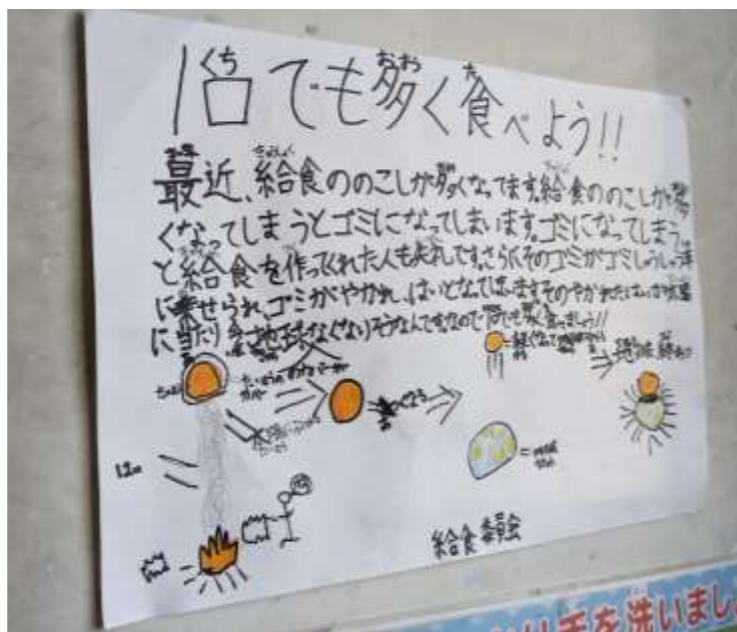


取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容		担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って
省エネルギーの推進	日常の学校生活の中で省エネルギー活動を実践する。	1	委員会やクラスの係などから、節電・節水資源循環等の呼びかけを行う。	各担任	児童 教職員	・委員会を中心に節水や節電の呼びかけを行った。 ・給食委員会で2L角形のペットボトルを再利用したプラごみ入れを作成した。	【取組の評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 高学年が下の学年に呼びかけることで、全校児童が自分ごとと考え、取り組む姿勢が培われた。 【今後の課題】 呼びかけ直後は効果が上がるが、継続的につなげていくことが肝要である。一過性のイベントで終わらないようにする必要がある。
資源・4R・廃棄物削減の取組	ごみの分別・リサイクル活動を推進し、ごみの量を減らす。	1	もえるゴミとプラゴミを分別する。	給食委員会担当	児童 教職員	・給食場では、委員会活動やクラスの取り組みとしてプラごみを分別するなど、ゴミの減量に取り組んだ。	【取組の評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 給食場のゴミ減量・分別については市内全域で取り組んでおり、これ以上出来ることは少ないと考える。 【今後の課題】 工作での廃材利用はこれまでもしてきたが、最終的な分別までの学習を学ぶことは少なかった。指導内容を今後、検討していきたい。 【次年度への引継ぎ事項】 図工の取り組みは今後も続けていきたい。
		2	給食時に出るストローの袋などをプラスチック容器などに加え、ごみを削減する。	給食委員会担当	児童 教職員	・給食で出る牛乳パックは毎日洗ってリサイクルに出すなど、積極的に取り組んだ。	
		3	廃材や裏紙を上手く利用する。	各担任	児童 教職員	・1,2年生の算数や図工の授業では、廃材を利用した学習やおもちゃ作りに取り組んだ。	
生きもの・みどり	植物の育成等を通して、子どもたちの自然を大切にすることを育てる。	1	生活科、理科などにおいて、植物の栽培や生き物の飼育を実施する。	各学年担任	児童	・5・6年生の国語「わたしたちにできること」などの活動を通して、ゴミのポイ捨てに対する呼びかけを行った。	【取組の評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 国語の学習は児童の発想を中心に活動を考えるものだったので、今年度は取り組みが少なかった。 【今後の課題】 今後も継続的に意識付けを図っていきたい。
		2	委員会活動(5・6年生)において、花を栽培する。	栽培委員会担当	5・6年生 児童	・4年生が社会の学習においてゴミの分別や節水などについて理解を深めた。	

(様式1) 学校エコ活動シート

●写真等の記録:活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記入ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。



▲残食とゴミの関係についてアピールする給食委員会のポスター。

●学校長(推進責任者)によるコメント

【学校長名】

山井 美奈子

【今後の方向性について】

今年度も各学年における教科等の学習活動(社会、国語、図工など)と関連づけたり、児童委員会活動において児童の自主的な活動として取り組んだりしてきた。次年度も引き続き、学習活動や児童の自主的な活動を中心に取り組んでいきたい。